

推進方向7

子供たちの『生きる力』を育成する生徒指導体制の充実と教職員の 人材育成

子供たち一人ひとりの人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるため、生徒指導体制を充実するとともに、教職員の資質能力の向上を図り、子供たちの夢の実現を支援する学校づくりをめざします。

◇ 対象施策 ◇

組織的な生徒指導体制を構築するとともに、不登校児童生徒に対する支援体制を強化します。

◆ 重点事業 ◆

◎ 組織的生徒指導体制の充実

生徒指導に関する研修を充実するとともに、校内での情報の一元化と共有を図り、組織的な生徒指導体制を構築します。

小中連携の取組により児童生徒に対する理解を深め、9年間を見通した開発的、予防的な生徒指導や教育相談を推進します。

いじめ防止基本方針に基づき、家庭・地域・関係機関等との連携のもと、いじめ問題の克服に向け、未然防止や早期発見の取組を充実するとともに、迅速かつ的確な対応を組織的に行います。

◎ 不登校児童生徒支援の強化

周南市教育支援センター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の連携により、不登校児童生徒に対する学校復帰に向けた支援と学習支援の一層の充実を図るなど、一人ひとりを見守り育む体制を整え、きめ細かな支援を行います。

問題行動や不測の事態の対処に当たっては、周南市教育研究センターによる支援や学校運営協議会の活用など、組織力や危機対応能力の強化に努めます。

◎ 安全管理体制の確立

学校安全の3領域や学校危機対応に関する校内研修を積極的に進めるとともに、学校評価の中に学校安全の視点を取り入れるなど、学校安全計画と危機管理マニュアルに基づいた安全管理体制の確立を図ります。

◎ **多様化する学校危機に備える取組の強化**

児童生徒が自他の生命尊重を基盤として行動し、社会の安全に貢献できるよう、家庭・地域と連携した防災訓練、周南市通学路交通安全プログラムの活用や危険予測学習（KYT）の実施など、多様化する学校危機に備える取組を強化します。

◇ **対象施策** ◇

周南市教育研究センターによるキャリアステージに応じた実践的な研修を充実し、教職員の資質能力のより一層の向上を図ります。

◆ **重点事業** ◆

◎ **若年教職員の資質能力の向上**

周南市若手教員育成ビジョンに基づき、「若人の会」研修会や人材育成会議を開催し、臨時的任用教職員を含む若年教職員の資質能力の向上を図ります。

◎ **中堅教職員・管理職の資質能力の向上**

中堅教職員や管理職を対象とした周南市独自の研修会を開催し、学校管理・運営に係る資質能力の向上を図ります。

◎ **各校の学校運営への支援**

管理職との日常的な相談体制を構築し、学校の危機管理対応への支援を行います。また、上席研究員が学校を訪問し、目標管理型の学校評価の活用等について助言することにより、学校の運営組織体制や指導体制の改善・充実を図ります。

☆ **成果指標・目標** ☆

指標名	現状値	目標値
児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数（再掲）	9.4人 （平成27年度）	5.0人以下 （平成31年度）
小・中学校におけるいじめの解消率	90.9% （平成27年度）	100.0% （平成31年度）
周南市教育研究センターが主催する「若人の会」研修会の日数及び講座数	10日、12講座 （平成27年度）	12日、20講座 （平成31年度）